

新教授紹介



脳神経外科 泉本 修一



2018年から奈良病院脳神経外科に勤め、2020年に新教授の泉本です。脳腫瘍治療を専門とし、奈良県で初めて悪性脳腫瘍治療手段のひとつのNOVO-TTFの医師認定/施設認定を得、関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワークに参画しています。赴任後には脳ナビゲーションや神経モニタリングシステムなど手術に不可欠な手術器機が更新され、高スペックのCT装置も導入されました。一方で、西和医療圏の急性期医療の代表のひとつとして、私を含め脳神経外科は頭部外傷や脳卒中の治療を担っています。4月より、脳血管内治療指導医の中川医師が加わり、専用設備のもと、脳卒中に対する血管内治療も飛躍的に向上しています。どうぞ宜しくお願いします。



整形外科・リウマチ科 戸川 大輔



本年4月1日付で整形外科・リウマチ科の臨床教授に就任いたしました。昨年4月に准教授として着任し、昨年1年間は大学病院として、専門性の高い診療、当院周囲の地域医療機関との連携に力を注ぎました。

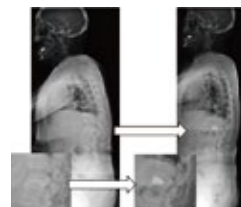
今年はコロナウィルス感染の問題で、地域の方々に多大なご心配をおかけしております。診療体制は常に改善に努めており、これまで以上に充実した診療が提供できるよう尽力してまいります。

当科は、せぼねの変性疾患(くび、せなか、腰)、関節の疾患(膝、股関節)、関節リウマチ、骨粗鬆症、がん患者様の骨転移、その他各種外傷(けが)などに対して、最善最適な治療方法を患者様、ご家族と相談して決定して行います。

運動器に痛みや心配がある患者様、是非ご相談に来てください。



変形性膝関節症に対する手術治療



せぼねの骨折に対する低侵襲治療(BKP)

CONTENTS

P1 新教授紹介

P2 シリーズ 5大がんを考える
「vol.5 肝臓の手術を終えました。
お酒は？」

P3 心臓リハビリ室が開設!

P4 ホスピタルアートを制作しました!・
外来診察待合のソファ修理
について

P5 高機能・最新機種
の超音波検査装置で検査します

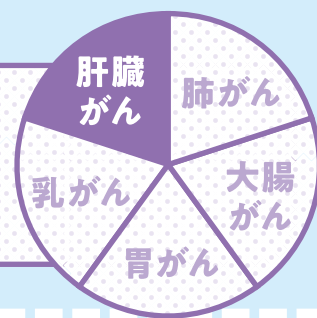
P6 ハロウィンについて・
井戸水の利用開始について

P7 栄養だより・薬剤コラム

P8 近大奈良病院 地域医療連携マップ・
第5回フォトコンテスト開催のご案内・
編集後記

「シリーズ 5大がんを考える」

vol.5 肝臓の手術を終えました。お酒は？



このページでは日本の5大がん
(肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、肝臓がん)を順に考えます。
第五回目は肝臓がんについて、紹介します。



肝臓の治療成績は満足できるものではありません。5年生存率は3割台、10年生存率は更に下がります。肝臓による死亡者数は、国内で2万5千人超、世界で75万人超と恐ろしい病気と言えます。根治のために手術やラジオ波で焼灼するなど物理的に排除する必要があります。再発する可能性は高いですが、言い換えれば、物理的に排除すれば治る可能性が出てきます。

肝臓の手術は一昔前と比べると極めて安全に行えるようになりました。しかし、出血のリスクなど一般的には難しい手術と言われます。肝臓の手術を受けて頂いて、経過が良ければ、我々もホッとしますし、当然患者様自身はもっとそうでしょう。そんな中で、一杯やってみたいのは人情というもの。「お酒は飲んでいいですか」とよく訊ねられます。状況によりますが「チョットぐらいならいいですよ」とつつい回答すると、ご家族から「止めるように言ってください」とちょっと叱られる事があります。本当はどうなのでしょう。

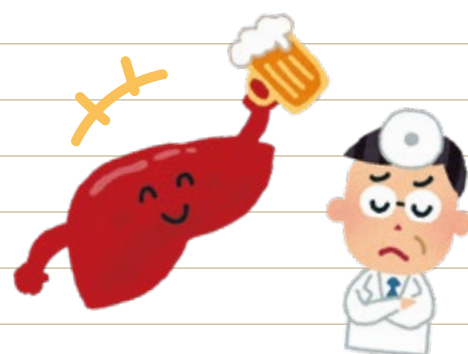
肝細胞癌の原因とされるものは、ウイルス性肝炎、肝硬変、男性、高齢、アルコール摂取、喫煙、肥満、脂肪肝、糖尿病があります。アルコールは発癌に関わっているだけではありません。大量飲酒は肝硬変の原因であり、肝機能を低下させます。肝臓の経過の中で、肝機能が保たれている事は重要です。再発すれば、再度治療を行うことで予後が延長しますが、肝機能が悪いと再発後の治療が難しくなります。

また、全ての癌の5%以上がアルコールに関与しているとの報告があります。更に適量の酒が体に良いと言われますが、最近は疑問視する意見もあります。よって、単純に結論づけると、発癌と肝機能低下のリスクを軽減するためアルコールは禁止という結論になります。

しかし、お酒の作用は悪いことばかりでないと思いたい人も多いでしょう。ストレス解消、酒文化、経済効果など良いこともしてくれるはず。少なくとも体に悪からうが、「旨い」のはほぼ確実です。平成25年に制定されたアルコール健康障害対策基本法の第一条には次の記載があります。「酒類が国民の生活に豊かさと潤いを与えるものであるとともに、酒類に関する伝統と文化が国民の生活に深く浸透している」。単なる法律の一文ですが、表現は悪くはないでしょう。

あれこれ考え、「止めた方がいいけど、チョットやったらいいかな」。

(文責：がんセンター 石川 原)





2020年2月 5階に 心臓リハビリ室が開設!



心臓リハビリテーション(通称：心リハ)。心リハは、心臓や血管の病気の影響で体力や筋力が低下した方に**運動療法**を行うだけでなく、病気の再発予防のために**食事療法**や自己管理方法などの指導(教育)もすることを目的としたものです。

心リハは、患者さんを中心に多種多様の医療スタッフ(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士など)が連携し患者さんにあったオーダーメイドのリハビリを進めていきます。

検査
測定

リハ
処方

運動
150日

自主
継続

確かな健康維持・向上のために、専門家の手をかりて見直しをしてみませんか?

病気への理解・適度な運動・適切な食事・正しい薬の知識…。

体力の向上が寿命を延長させると言われています。健康で長生きのためにまずは、自分自身の体力がどの程度なのか知ることがスタートです!

次回、体力検査である心肺運動負荷試験(CPX)について掲載させて頂く予定です。



(文責：リハビリテーション部 長谷 充月季)

ホスピタルアートを制作しました！

近畿大学文芸学部文化デザイン学科 森口教授による2年生の授業の成果物として、第1駐車場からのトンネル壁画を制作しました。

昨年度から始まった療養環境をアートの力で快適にする「ホスピタルアート」の取り組みですが、今回は企画提案から制作施工まですべてを学生たちが実施しました。

そのこともあってか、ご覧の通り若い感性に溢れた躍動感のあるものとなりました。また、見るだけではなく、作品の一部として加わり「映(ば)えるスポット」まで準備しています。是非想い出の一枚パシャリと収めてください。

制作中には、通りかかった患者さんから「陰気な通路が華やかになったね」とか、職員からは「元気が貰える」などの声掛けがあり、何と手伝いを申し出てくれるお子さんまで！まさしく、インクルーシブデザインの実践と申せましょう。

是非現場でご覧+ご体験ください！

(隠れ「ハート」も探してみてくださいネ♥)

(文責：事務部 患者支援センター 田花 永久)



患者様目線に取り組んでまいります…

外来診察待合のソファー修理について



当院も開院後21年が過ぎ、時間の経過とともに、あらゆる設備について経年劣化が進んでおります。この度、患者様が毎日使用されている、外来診察待合のソファーの座り心地が悪くなっているものが複数箇所見つかりました。クッションが悪いソファーに座り続けていると、腰痛の原因にもなりかねません。少しでも、診察前の待ち時間を快適に過ごして頂くことは出来ないのか？メーカーの担当者と相談し、改善策を検討しました。その結果、ウレタンを交換することで、座り心地の良いソファーに生まれ変わる事ができました。(写真参照)

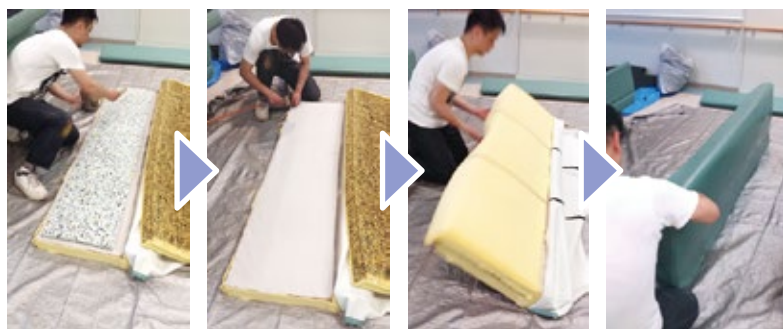
今後も、当院を受診される全ての患者様に、少しでも快適にお過ごし頂けるよう、常に患者様目線で考え、行動してまいりたいと考えております。「患者様の声」(ご意見・ご要望)を真摯に受け止め、患者サービスの向上に向け積極的に業務に邁進してまいります。

施設面で何かお困りの事がございましたら、一度、総務課川田までお声かけください。

全ては患者様の為に、患者様目線で気持ちの良い病院を目指してまいります。



文責：
事務部総務課施設用度係
川田 和延



ウレタン交換作業 (作業風景：左から右にかけて作業を行って頂きました。)



高機能・最新機種 の 超音波検査装置で検査します



超音波検査装置Vivid E95 R3を導入しました。

臨床検査部 増田 詩織

人の耳では聞こえないほどの高い周波数の音を超音波といいます。超音波は臓器や組織の境界で反射する性質があり、この性質を利用して反射してくる音(反射波)を受信して画像を作り出すのが超音波検査です。痛みがなく、副作用もなく、広く利用できる検査で、体のいろいろな部位の病気を診断するときに使われています。

心臓は、全身に血液を送るポンプの役割をしています。心臓は四つの部屋と四つの弁からできています。超音波検査では、各部屋のバランスや壁の厚さ、奇形がないかなどを調べ、心筋の動きや弁の閉まり具合・開き具合も調べます。カラードプラという方法を使うと血液の流れを視覚的にとらえることができ、弁の逆流もわかります。この検査は心臓の病気の診断だけでなく、手術前の心機能の評価にも用いられます。

腹部超音波検査は、肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓などを調べます。脂肪肝、肝硬変などの診断や、各臓器にある結石、ポリープ、腫瘍、炎症などを調べることができます。

下肢静脈超音波検査は、足の血管の血液の流れに異常がないか、血栓(血の固まり)の有無などを調べます。静脈血栓症や静脈瘤などの診断に用いられます。

乳腺超音波検査は、乳房にあるしこりを調べて、触ってもわからないような小さな腫瘍を見つけることができます。乳がんをはじめ乳腺症や良性腫瘍などの診断にも役立ちます。超音波は、被爆の心配もないため、妊娠中の女性でも安心して、いろいろな検査ができます。

近畿大学奈良病院では、今年の8月に、GEヘルスケア・ジャパン社の高機能・最新機種の超音波検査装置Vivid E95 R3を導入しました。革新技術のソフトウェアと高性能プローブを用いて高画質な画像検査が行えます。今後もみなさまの診断・診療に役立つよう努めさせていただきます。





3D病棟では、10月30日にハロウィンイベントを開催しました。コロナ禍の中で3密を避けてイベントを行うには例年同様に実施することが困難であったため、感染対策を実施した上で、一人ひとりの病室に伺い、イベントを行いました。まず、ハロウィンのリースを保育士と一緒に作成し、マントに好きなキャラクターを貼ってもらい、そのマントを着てチェキで撮影しました。おやつは、近畿大学農学部の学生さんが、平群産のかぼちゃを使ってかぼちゃのカップケーキを作ってくれました。ケーキを見つけると、とてもニコニコしてかぶりついて可愛かったです。

(文責：3D病棟 大倉 景子)



井戸水の利用開始について！ 皆さん、ご存じでしたか？



井戸水が飲料水として利用できるのですよ……

7月1日(水)から、給水設備更新事業を「Daigasエナジー株式会社」の協力を得て、井水を飲料水、透析にも安心して使えるレベルまで高度処理し、給水を開始致しました。

当院は、災害時に医療の拠点となる「災害拠点病院」に指定されており、緊急時のライフラインの確保は、患者様にとって非常に重要で、災害時にも診療が継続できる、「**BCP(事業継続計画)**」を策定し、体制を整えています。万が一、災害等で停電が発生してもガスコージェネレーションや非常用発電機で井水処理設備を稼働し、供給が可能となっております。災害時にも診療を継続するには**自力で3日間**は持ちこたえられるよう準備しておくことが推奨されており、水については備蓄や貯水槽だけで賄うことができず、井水を活用することで、地震などの災害時にライフラインが停止しても、安心して水の供給が可能です。

(文責：事務部総務課施設用度係
川田 和延)



▲井水処理設備



▲井戸の掘削作業

栄養だより

体中の免疫細胞の7割は腸にあり!



腸は、食べ物だけでなく、それと一緒に病原菌やウイルスなどが常に入り込んでくる、体内で最も密接に“外界”と接する臓器と言えます。だからこそ腸には、病原菌やウイルスなどの外敵を撃退してくれる頼もしい戦士「免疫細胞」が大集結しています。大量の免疫細胞が、栄養や水分を吸収する腸の壁のすぐ内側に密集して、外敵の侵入に備えています。

★腸の健康を保つために

ヒトの腸管、主に大腸には約1000種類、100兆個にも及ぶ腸内細菌（腸内細菌叢（そう）や腸内フローラとよばれます）が生息しています。ヒトの腸内細菌は、善玉の菌と悪玉の菌、そのどちらでもない中間の菌と、大きく分けて3グループで構成されています。健康的な腸内細菌は善玉菌が優勢な状態です。

★善玉菌を「届ける」+「育てる」の相乗効果で、より効果的な腸活をはじめてみましょう。

届ける プロバイオティクス食材

- ・ビフィズス菌
- ・納豆菌
- ・乳酸菌



育てる プレバイオティクス食材

- ・不溶性食物繊維
- ・水溶性食物繊維
- ・オリゴ糖



シンバイオティクス

（文責：栄養部 檜原 有衣）



薬剤コラム



薬剤時事ネタシリーズその3

- 消毒薬の使い方と注意点 -

今年も冬がやってきましたね。冬は風邪をひきやすく、さらには食中毒や感染症が流行る時期でもあります。ここでは、消毒薬についての正しい知識や注意点などを紹介していこうと思います。

●消毒薬って？

消毒薬は、そこに存在する病原微生物を殺滅させるか、害のない程度まで減少させる目的で使用されます。消毒により、感染症の発生や、発生した感染症の拡散を防ぐことができます。



●よく使われるものは？

アルコール

例)消毒用エタノール

消毒に適した濃度は70～80%です。手指消毒薬としてよく使われ、その他ドアノブ、医療機器の消毒等にも使用されます。

注意点

傷口や粘膜への使用はできません。また、引火の可能性もあるので、火気には十分注意が必要です。



次亜塩素酸ナトリウム

例)ミルトン、ハイター（漂白剤）

ノロウイルスに有効です。室内消毒や器具消毒（哺乳瓶の消毒）によく使用されます。

注意点

強酸性洗剤（塩酸など）と混ぜ合わせると、有毒な塩素ガスが発生します。また、金属を劣化させることがあります。



ポピドンヨード

例)イソジン®

殺菌作用が持続的であり、皮膚に対する刺激が少ないことが特徴です。手術時部位の消毒やうがいに使用されます。

注意点

着色してしまうため、器具には使用できません。また、ヨウ素過敏症の方も使用できません。



●最後に

消毒薬についてご紹介させていただきましたが、普段の石鹸と水での手洗い・うがいでも十分に感染症から身を守ることが可能です。これからの季節、細菌やウイルスに負けないようにしっかりと対策を行っていきましょう。

（文責：薬剤部 島谷 悠里）

近大奈良病院 地域医療連携マップ ～当院連携医をご紹介しますリーフレットができました～

皆さんはご近所にかかりつけ医をお持ちですか。近大奈良病院での診療には、地域の診療所やクリニック、病院との連携は欠かせません。かかりつけ医による日常の診察から病気を早期発見し当院へご紹介いただくことで、当院ではスムーズに治療を進めることができます。

2階正面玄関を入って左側、再診受付機の横に地域医療連携マップを掲示し、診療所やクリニック、病院をご



紹介するリーフレットの専用ラックを設置しました。それぞれの施設の院長先生のお顔写真やメッセージなどの入った、当院オリジナルのフォーマットで作成しています。ご自由にお持ち帰りいただけますので、かかりつけ医やお住まい近くの診療所を探す時には是非ご活用ください。一度、ご自身のかかりつけの先生も探してみてくださいね。

(文責：患者支援センター 藤本 絢也、がんセンター 市村 紀子)

第5回 フォトコンテスト開催のご案内 PHOTO CONTEST

第5回フォトコンテスト応募締切しました。たくさんのご応募ありがとうございます。下記日程まで投票お待ちしております。

1.応募締切 **令和2年 12月25日(金) まで**

2.応募資格 **一般の方および当院教職員**

1人3点まで
投票可能です。

是非投票をお願いします!



▲第4回フォトコンテスト 最優秀賞作品
「雲と近大」

編集 後記

おかげさまで今年度初の近畿大学奈良病院広報誌『いこま』を発行できました。

前回の広報誌にて告知しておりました第5回フォトコンテストが延期になり、ご心配をおかけしました。遅くなりましたが、コンテスト作品への投票受付を開始しております。是非、お気に入りの1枚に投票のほどよろしくお願いします。

昨今の情勢では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の話題は避けられませんが、それだけに没入せずに一歩ずつ日常につないでいけるような広報誌になればと思います。

お読みいただきありがとうございました。

(担当：放射線科 福田 浩平)



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学奈良病院

〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1 TEL 0743-77-0880
E-mail: infonara@med.kindai.ac.jp https://www.kindainara.com

発行日 令和2年12月24日
発行場所 近畿大学奈良病院
編集 広報委員会